



岐阜市立岩野田北小学校 学校だより

せんだんの本



令和6年9月1日 校長 各務至

全校集会（8月29日）で話したこと

久しぶりにみなさんに会えてとても嬉しいです。夏休みはいかがでしたか。私はパリオリンピックに夢中になっていました。どの競技も見とれていたのですが、中でも、スケートボードの堀米雄斗選手が最後の試技を完璧に決めて、大逆転で金メダルを取った場面が印象に残っています。その時の技は「ノーリーバックサイド270テールブラントスライド」といって、飛び上がりながら270度回転し、手すり（レール）にボードの先端を乗せて滑り降りるという難易度の高いものでした。

実は、予選から何度も失敗していたのですが、出場前から、彼は「1%の可能性を信じる。」と言ってチャレンジを続けていました。それだけ練習してきたのでしょう。また、勝っても負けても互いを讃え合っていて爽やかでした。ライバルを大切にしているから自身も強くなれるのでしょうか。私は、スポーツクライミングやブレイキンをやってみたくくなりました。みなさんはどうですか。

反対に、選手や審判の悪いところを見つけて文句を言ったりけなしたりすることには残念な気持ちになりました。一生懸命な姿に対して足を引っ張るような言動はさげ、選手や技のすごさを楽しみたいものです。そして、みなさんには「なかまのがんばりを大切にできる人に」なってほしいです。一生懸命はかっこいいです。さて、今日からパラリンピックが始まりますが、私は特にポッチャを楽しみにしています。みなさん、ぜひ、選手や技のすごさを見つけてみましょう。

SNS 上で選手の姿を非難したり審判のジャッジを疑ったりする等の声が聞かれました。熱心に応援するあまりとは思いますが、それによって、たいへんなダメージを心に受けている方もいるようです。批判的にものごとを考えていくことも必要ですが、一生懸命な姿には拍手を送りたいものです。学校でも、

- ・相手の立場から考えてみる。
- ・共感的に受け入れる。
- ・仲間の良さを見つけ、大切に思う。
- ・様々な角度からものごとを捉え、事実を見極めていく。

など、子供たちと大切にしていきます。

ポッチャ

白球を目標に、先攻（赤玉）と後攻（青玉）に分かれて6球ずつ投げ合い、白球に近づけたチーム（選手）が勝ち。より近い球数が点数になる。投球する技術だけでなく、どこに投げるかなど頭脳戦になる。年齢、性別、障がい問わず、誰もが一緒に競い合える。

